

平成18年度 指定管理者年度総合評価表

1. 指定管理者

施設名	養護施設 浩々学園
指定管理者名	社会福祉法人 八戸市社会福祉事業団
指定期間	平成18年 4月 1日 ~ 平成21年 3月31日
施設概要	〔所在地〕八戸市根城7丁目8番46号 〔設置目的〕乳児を除いて保護者のいない児童・虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童を入所させこれを養護し、あわせてその自立を支援することを目的とする。 〔構造〕鉄筋コンクリート造1階建 延床面積787.67㎡ 〔運営方針〕児童の自主性を尊重し、基本的生活習慣を確立すると共に、豊かな人間性及び社会性を養い、自立に向けて支援する。
指定管理者の業務	①運営に関する業務 ②施設、設備等の維持管理に関する業務 ③その他市長が必要と認める業務

評価は◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪いの4段階です。

2. 管理運営状況

(1) 管理状況

指標	評価	評価に対する説明
勤務時間 (フレックスタイム制)	○	基本的生活習慣の確立や向上に努めた ・入所児の生活時間に合わせた勤務体制で対応している
法令の順守	○	関係法令が遵守されている ・児童福祉法、八戸市児童養護施設設置条例及び施行規則等遵守されている
適正な人員配置	◎	適正な人員配置が行われている ・業務基準書で示した以上の人員及び資格者を配置している
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されている ・最低賃金等の労働関係法令が遵守されている
職員の教育・研修	◎	職員の教育や研修が適切に行われている ・毎月処遇会議を開催し、指導に反映されている
緊急事態の対応	◎	事故、災害等の緊急事態に対する対応(準備)が良くできている ・月1回テーマを変えて避難訓練を実施している
文書の管理保存	○	作成、受領した文書の適切な管理がなされている ・業務日誌・当直日誌・給食日誌等整然と管理されている
報告書等の提出	○	業務・事業報告書、その他報告等の提出や内容が適切であった ・各種報告書が遅滞なく行われ、内容も適切であった
口座管理、経理の区分	○	指定管理者の収支は専用口座で管理されている ・施設ごとに適正に処理されている
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	○	賠償問題なし
付保する保険	◎	協定書で指定する損害保険の他にも加入している ・幼稚園賠償責任保険(人身死亡2億円)に加入している
指定管理開始前における準備	○	指定管理開始時、業務の引継ぎを適切に行った ・業務開始時の混乱はほとんどなかった
重要事項の変更の届出	○	重要事項の変更なし
施設、設備の保守管理	◎	施設、設備の保守管理(点検や修繕)を適切に行った ・施設、設備の保守管理を問題なく行った ・ボランティアによる適切な修繕が実施できた
備品の管理	○	備品の管理(点検や修繕)は適切に行われていた ・備品の管理を問題なく行った
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、宿直業務、その他必要な管理業務を適切に行った。 ・清掃業務は東北ビルサービス、宿直業務はシルバー人材センターに委託し、業務日誌により実施状況を確認した

(2) 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
児童の保護状況	○	児童相談所が措置した児童の保護及び生活支援に努めた ・食育に力を入れ、手作りのおやつを多く給与した
児童の一時保護委託事業状況	○	児童相談所からの一時保護の受け入れ態勢が適切である ・平成18年度実績 3件 5名
児童の生活支援状況	○	個々の適正に応じた生活指導及び進路指導ができた ・児童相談所との情報交換会を隔月実施し、適切な処遇に努めた ・就職に関して、個々の児童の能力及びアフターケアできる様に配慮している
八戸市子育て支援短期利用事業の状況	○	八戸市より依頼のあった一時的に養育困難な児童を適切に保護した ・平成18年度実績 7人 21日 延べ46日
健康管理状況	◎	嘱託医と相談して健康管理に努めた ・嘱託医による定期健康診断の実施が適切に行われた ・虫歯の治療や流感防止を徹底して実施した
年間行事	◎	季節ごとの各種行事を実施した ・地域との交流を大切にし、地域住民の行事への参加を呼びかけた ・子ども会活動に参加し地域の子どもとの交流を図った
その他の取り組み	◎	・子ども会議を設け、役割分担を決めたことにより、責任を持つ心を育てた ・中庭に家庭菜園を作り、食物への関心と感謝の気持ちを培った

(3) 収支状況

指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の支出状況	○	収入 指定管理料 87,706千円 支出 82,052千円 ・措置児童見込み数より、入所児童減により支出額減少

(4) その他

指標	評価	評価に対する説明
入所児満足度	○	入所児満足度を調査及びその結果を活かす仕組みがある ・子ども会議を実施した ・年2回の相談日とカウンセリングを実施している
苦情・要望	○	苦情・要望等を聞く仕組みや対応が適切だった ・意見箱を設置し、苦情や向上への提案を取り上げている
個人情報の保護	○	個人情報の保護要綱を策定している ・入退所児童に関する書類は適切に管理されている
情報公開	○	・公開請求はなし
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られている ・秘密保持義務については、随時留意を促した
環境への配慮	◎	環境に配慮した物品を購入し、省エネに取り組んでいる ・環境に配慮した物品購入を実施している ・クリーンパートナーに登録している

3. 指定管理者による自己評価

(1) 評価	<p>指定期間1年目の平成18年度は、申請書で提案した事項を概ね計画どおりに実施し、収支状況・児童の処遇などに一定の成果を得た。施設・設備の維持管理面においては、施設経過年数を考慮した点検・修繕による事故・故障の未然防止で、安全で安心な生活環境を確保し、子どもがやすらぎを持てる生活環境に配慮した。</p> <p>また、維持管理費では、燃料単価の上昇があったものの経費節減により収支面でも良い結果が生まれた。</p> <p>児童の発達状況に応じた生活支援方針と具体的な方策を立て、これらに基づき適切に継続的に実施して、子どもたちの健全育成に努めた結果、児童の処遇面でも好結果が得られた。</p>
(2) 今後の目標	<p>指定期間の残りの2年間も、平成18年度以上の成果となるよう事業計画を適正かつ確実に実行するとともに、年々進む施設・設備の老朽化に対応した維持管理で、故障予防及び長期間にわたり使用できるように、中・長期的な視点での費用節減にも努めていきたい。</p> <p>また児童の処遇関係では、平成19年度は高校生の就職進路希望がかなえられるよう、全力で援助していきたい。施設経営の面では、社会保障制度を有効に活用し、経営基盤の安定化を図っていくよう努めたい。</p>

4. 市（所管課）の総合評価（子ども家庭課）

(1) 評価	<p>非公募により継続して養護・支援しているため、入所児童の状況把握及び関係機関との連携も迅速に実施されている。また、地域に根づいた施設運営として、地域住民との交流やクリーンパートナー登録等により、管理目標を充実させる試みは評価される。</p>
(2) 立入検査	<p>——</p>
(3) 指導事項等	<p>特になし</p>